

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公表番号】特表 2006-507874 (P2006-507874A)

【公表日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報 2006-010

【出願番号】特願 2004-555800 (P2004-555800)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/37 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

A 6 1 N 1/365 (2006.01)

A 6 1 N 1/39 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/37

A 6 1 B 5/00 1 0 2 C

A 6 1 N 1/365

A 6 1 N 1/39

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 22 日 (2006.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

移植可能医療装置から成るシステムであって、前記移植可能医療装置が、
治療回路と、
前記移植可能医療装置からの情報を外部の患者管理システムに通信する通信回路と、
生理学的検知回路と、
移植後に起動される第 1 のモードと、
前記第 1 モード中にオンされているとき、生理学的事象を検知した前記生理学的検知回路によって起動される第 2 のモードと、から成り、

前記第 1 モードでは、前記生理学的検知回路の少なくとも一部に対する電力が、省電力デューティサイクルで連続的にオンとオフを繰り返へされ、前記生理学的検知回路及び前記通信回路の電力はオフされており、

前記第 2 モードは、検知と無関係に前記治療回路を永久的に起動することによって前記第 1 モードを解除するとともに、少なくとも一時的に前記通信回路を起動する、
ことを特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記第 2 モードは、前記移植可能医療装置から前記外部患者管理システムへの情報通信を始動する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記第 2 モードは、前記通信回路に永久的に電力供給する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

治療介入を必要とする心臓血管事象を含む生理学的事象を検知したとき、前記第 2 モードの起動により、前記移植可能医療装置が、監視モードから介入・通信モードに切り替わ

る、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記治療回路は、電気刺激制御回路を含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記治療回路は、化学治療剤配給制御回路を含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記第 2 モードは、前記生理学的検知回路が前記生理学的事象を検知したときに起動され、前記生理学的事象は頻拍性不整脈である、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記第 2 モードは、前記生理学的検知回路が前記生理学的事象を検知したときに起動され、前記生理学的事象は徐脈型不整脈である、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記第 2 モードは、前記生理学的検知回路が前記生理学的事象を検知したときに起動され、前記生理学的事象は原線維性事象である、請求項 1 に記載のシステム。